

宇都宮市立陽南中学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組 | 取組の具体的な内容 | 取組に関わる調査結果 |
|---|--|--|
| 実態をふまえた個に応じた指導など、指導方法や指導体制の工夫・改善を図るとともに、家庭学習を充実させ、生徒一人一人の確かな学力の育成に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「宇都宮モデル」等を踏まえ、意欲の育成や基礎の確実な習得に努め、一人一授業等に取り組む、授業力向上を図る。 ・地域と連携し、課外学習を実施することにより、学力の基礎・基本の定着を図る。 ・家庭学習の充実に向け、一人一人の家庭学習の定着を図り、AI型ドリルの積極的な運用に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する関心や基本的な学力では肯定的な割合が上昇している項目が多く見られる。特に2年生においてはその成果が顕著である。 ・学習に対しては、前向きさに対しての学年差が大きい。それぞれの学年のよさを見つけ、指導に生かせるようにしていく。 |
| GIGAスクール構想プロジェクトチーム、SDGsプロジェクトチームの支援のもと、それぞれの取組を生徒自らが主体的に行おうとする意欲を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動の活性化を図るとともに、SDGsプロジェクトチームの支援のもと、SDGsに関する取組を生徒自らが主体的に行おうとする意欲を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットについては、積極的な活用が見られるようになってきた。社会の出来事についての関心が低い学年もあり、SDGsや宇都宮学などを通して、社会にも目を向けさせていきたい。 |

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・学校全体としては、3年間を通して、学力や意識が向上していく傾向がある。半面、それでも市の肯定的な割合に及ばない結果も多く見られる。1年時から生徒のよさや伸ばしていきたい点を理解し、それぞれに合った指導、声掛けを通して一層の成長を今後も続けていく。特に、学校重点目標である学力の向上では家庭学習の充実を一層図り、3年目となるGIGAスクール構想やSDGsの取組では、課題を明確にし改善していく。

・家庭におけるタブレット等の活用に課題が見られるので、デジタルシチズンシップ等使い方の成長を促す声掛けを増やしていく。